

中欧の楽都プラハの「市民会館」スメタナホールをベースとする名門プラハ交響楽団は、私たちが漠然と思い描く以上に進取の気性に富んだ、今をときめくオーケストラだ。

もちろん哀愁と情熱に彩られたチェコの音楽、ボヘミアの調べ、舞曲を奏でた際の安定感、信頼感は揺るぎない。2024年に創立90周年を寿ぐプラハ響は、1984年以来、定期的に日本を訪れ、ドヴォルザークの「新世界より」を主軸としたプログラムを披露し続けてきた。前回2019年1月のステージを思い出す方もいらっしゃるだろう。2015年から首席指揮者を務めたフィンランドの俊英ピエタリ・インキネンとの集大成ツアーだった。いっぽう、プラハ響はそのインキネンとシベリウスの組曲「クリスティアン2世」や気宇壮大な「クレルヴォ交響曲」の各チェコ初演に腕をふるい、マーラーの交響曲第3番で満場を沸かせたオーケストラでもある。近年創造という名の翼を大いに広げているのだ。

プラハ響は今、シンフォニーとオペラの両輪でキャリアを築く中堅トマーシュ・ブラウネル(1978年プラハ生れ)をシェフに迎えている。ビルゼン・フィル、プラハ放送響、マルティヌー・フィル、プラハ国立歌劇場で認められたブラウネルは、日本では「無名」に近い。でもプラハ響は1970年代中葉、あのピエロフラヴェク(1946~2017)を抜擢した演奏史が示すように、次代のマエストロを見いだすのも上手い。ブラウネルとプラハ響の今を体感しない手はない。

我らが小林研一郎(1940年生れ)の登場もプラハ響「ニューイヤーコンサート」の華だ。1974年に開催された第1回ブダペスト国際指揮者コンクール優勝から半世紀! コバケン(コバケン)はハンガリーで愛され、プラハの春音楽祭での「わが祖国」で喝采を博したマエストロである。コバケン流儀満載の「わが祖国」。ステージと客席の交歓が早くも目に浮かぶ。

ここへきてますます音楽的な深みを増している牛田智大と岡本侑也の登場が待ち遠しいというファンも数知れない。しかも最高峰の名曲を弾く。さあ、役者が揃ったプラハ響「ニューイヤー」へ。

奥田佳道(音楽評論家)



© Petra Hajska

トマーシュ・ブラウネル(首席指揮者)
Tomáš Brauner, Chief Conductor

チェコの指揮者トマーシュ・ブラウネルは、チェコ共和国最高峰のプラハ交響楽団の首席指揮者を務めている。オペラとオーケストラの指揮者として精力的に活動しており、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ミュンヘン交響楽団、J.K.ティル劇場、プラハ国立歌劇場をはじめとするヨーロッパの主要な楽団と共演、またリヒャルト・シュトラウス音楽祭、プラハの春国際音楽祭など重要な音楽祭にも客演している。



© 山本倫子

小林研一郎(指揮)
Ken-ichiro Kobayashi, Conductor

1974年第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第一位、及び特別賞を受賞。2002年プラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。これまで国内外のオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授他。旭日中経章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞、ハンガリー政府よりハンガリー一國大十字功労勲章等を受賞。
公式サイト: <http://www.it-japan.co.jp/kobaken/>



© Ariga Terasawa

ともはる
牛田智大(ピアノ)
Tomoharu Ushida, Piano

1999年生まれ。2012年、ユニバーサルミュージックよりCDデビュー。以降、本格的に演奏活動始める。2018年、第10回浜松国際ピアノコンクールにて第2位、聴衆賞およびワルシャワ市長賞も同時受賞。2019年には出光音楽賞を受賞。20歳の記念にはサントリーホールにてリサイタルを開催。人気実力とも日本の若手ピアニストを代表するピアニストとして注目を集めている。2022年3月にデビュー10周年を迎えた。



© Shigetō Imura

岡本侑也(チェロ)
Yuya Okamoto, Cello

2023年4月にウィーン、パリ、ルツェルンなど欧州7都市でピアニストのクリスチャン・ツイメルマンとブラームスのピアノ四重奏曲を三度目の共演、エレガントなフレージングと輝きを放つチェリストと最大級の賛辞を贈られた世界が注目するチェリスト。2017年エリザベート王妃国際音楽コンクール第2位、齋藤秀雄メモリアル基金賞、出光音楽賞、ホテルオークラ音楽賞などを受賞。欧州を中心に第一線で演奏活動を展開している。



© Jan Kolman

プラハ交響楽団 Prague Symphony Orchestra

プラハ交響楽団は1934年、ルドルフ・ベカーレクによって創立。創立以来活躍したのはヴァーツラフ・スメタラ・チェクであり、1942年首席就任以降30年間にわたって同楽団を牽引し、国際的な名声を得るオーケストラへと発展させた。イルジー・ピエロフラヴェク、ペトル・アルトリヒテル、イルジー・コウト、ピエタリ・インキネン、トマーシュ・ブラウネル等を首席指揮者として迎えた他、世界的指揮者やソリストたちと共演、欧米・アジア各国にも定期的に訪れている。

2024年プラハ交響楽団日本公演スケジュール

☆ 牛田智大(ピアノ) ◎ 岡本侑也(チェロ)

- 1/5(金) 札幌コンサートホールKitara 大ホール ☆
(問) オフィス・ワン 011-612-8696
- 1/7(日) ハーモニーホールふくい ☆
(問) ハーモニーホールふくいチケットセンター
0776-38-8282
- 1/8(月・祝) 兵庫県立芸術文化センター ◎
(問) 芸術文化センターチケットオフィス
0798-68-0255
- 1/13(土) いわきアリオス アルパイン大ホール
(問) アリオスチケットセンター 0246-22-5800
(小林研一郎指揮)

《特別割引チケット》

(ジャパン・アーツびあホールセンター及びジャパン・アーツびあオンラインチケットで受付、川崎公演は神奈川芸術協会でも受付)

- ◎学生券(各ランクの半額/座席の指定が可能です) 残席がある場合に限り、10/11(水) 10:00より受付を開始いたします。※社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場下さい。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂く場合がございます。)
- ◎シニア・チケット=公演当日65歳以上の方はS席とA席を¥1,000割引(税込)でお求めいただけます。
- ◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(東京公演はジャパン・アーツびあホールセンター、川崎公演は神奈川芸術協会でご受付)

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。

- ① やむを得ない事情により、出演者、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。
- ② 公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。
- ③ ①いかなる場合も再発行できません。紛失等には十分ご注意ください。
- ④ 演奏中は入場できません。
- ⑤ 未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。
- ⑥ 全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。
- ⑦ 場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話・電子機器等の使用は、固くお断りいたします。
- ⑧ ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。
- ⑨ 他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。